

夏休みを迎え、慌しい学生相談室の日々もひと段落です。学生もそれぞれの夏休みに向けて動き出している様子です。

さて、今回は学生相談室利用のきっかけについてお伝えします。最近、学生相談室では、さまざまな機会をとらえて、相談室にきてみませんか、という個別の呼びかけを行っています。

相談室は、自発的に相談をしたいという意思のある人には、お役に立ちやすいところです。その一方で、有効活用できる可能性が高いのに、相談室に来る機会を逃してしまう場合も多いためです。学生にとって、相談室を自ら利用できる条件は意外と厳しいようです。

では、その条件を挙げてみましょう。①相談室を知っている、②現状で何かうまくいっていないという自覚がある、③相談する的良好い方向での変化が期待できると思える、④自分のことを話す勇氣がある、⑤相談室に行く時間の余裕がある、などなど挙げたらきりがあります。そこで、色々な条



件で、相談室に繋がりにくくなっている学生に、積極的にアプローチすることを通じて、相談室利用のきっかけ作りをしています。

誰しも困りごとの一つや二つ、抱えながらの学生生活ですから、相談室を利用しながらの学生生活は、どのような学生にとっても有意義なものとなります。私たちが日頃からお伝えしたいと考えて

いることは、病気だから、弱いから相談室に行くのではなく、相談室を利用する学生は、その人なりの相談室を利用する条件が整っている人だということです。

最後に、相談室の利用を残念なことだと勘違いしている人々の存在も利用を妨げるハードルになっているかも知れません。相談室の利用は、図書館の利用と同じくらいに当たり前のことだということを知ってもらえるよう、学生相談室ではさまざまな取り組みを行っています。ご家族の方もどうぞ、お気軽にご利用ください。